

目次	頁
はじめに	1
第1章 政策過程研究の理論課題	7
第1節 政策過程研究変容の背景	7
第2節 政策過程研究における諸アクターの位置づけ	9
第3節 諸アクター間のネットワーク形成への関心	13
第2章 政策ネットワーク研究の射程とネットワーク波及モデル	21
第1節 ロウズモデルの意義	22
第2節 政策ネットワーク研究の展開	25
第3節 政策ネットワークモデル構築の模索	29
第4節 イギリス行政学に対するロウズの警鐘	30
第5節 政策ネットワーク論をめぐる課題と特質	32
第3章 イギリス文化行政をめぐる政策ネットワークの構造と作動	
博物館・図書館・スポーツ行政をめぐる政策、制度、管理	41
第1節 文化行政に関わる諸アクターの位置づけ	42
第2節 文化行政をめぐる政策ネットワークの特質	49
第3節 地方自治体をめぐる環境変容とその特性	
文化行政領域における競争性の導入を中心に	52
第4節 図書館サービスをめぐる「自発的」競争入札制度の導入	60
第5節 強制競争入札の波及課題としての政策ネットワークの変容	64
第4章 イギリススポーツ行政をめぐるネットワーク戦略の態様と作動	75
第1節 文化省のスポーツ政策の動向と関連法令	75
第2節 文化省のスポーツ政策アクターに関する一考察	79
第3節 スポーツ政策における公的セクターとボランティアセクターの協働と課題	85
第4節 アイルランドスポーツ省の政策戦略とネットワーク構造	93
第5章 スポーツのサブ政策領域におけるネットワークの形成	
イギリスサッカーフーリガン対策をめぐる諸アクター間の関係変容	107
第1節 サッカーフーリガンをめぐる政策対応の原型	
「サッカー試合における観衆行動についての報告」(1969年)を素材として	107
第2節 サッカーフーリガンをめぐる法律と政策の対応	111
第3節 サッカー競技場の安全政策におけるライセンス機関、地方行政機関、 クラブの機能的連携	116

第4節	フーリガン対策をめぐる現代的課題	120
第6章	日本戦時期体育行政における集権統治型ネットワークの原型	129
第1節	厚生省体力局による「国民体育」振興をめぐる政策過程	129
第2節	厚生省人口局による「女子体力章検定」の実施をめぐる諸アクターの配列	136
第3節	大日本体育会道府県支部による地方統制構造	
第7章	現代日本スポーツ行政をめぐる政策ネットワークの特性と作動	159
第1節	文部科学省および関連省庁のスポーツ政策の概要と特徴	159
第2節	スポーツ産業行政における政策ネットワークの構造	161
第3節	サッカーくじ導入をめぐる諸アクター間の相互作用の特質	164
第4節	スポーツ振興法の改正によるスポーツ行政をめぐる「分権」の課題	174
第8章	地方自治体におけるスポーツ行政の展開とネットワーク変容	195
第1節	都市スポーツ行政をめぐる諸アクター関係の変容 横浜市、川崎市、藤沢市を素材にして	195
第2節	地域総合スポーツセンターの設立をめぐる意思決定過程 1970年代後半における行政アクターの動態	203
第3節	リゾート・ゴルフ場開発事業における行政アクターの政策対応 と課題	210
第9章	大規模国際スポーツイベントをめぐる諸アクター間のパートナーシップ形成の課題	239
第1節	2002年サッカーワールドカップ誘致・開催と地方自治体の対応戦略 アクターとしての栃木県、宇都宮市、県サッカー協会の動態に注目して	239
第2節	地方自治体における2002年サッカーワールドカップ大会開催準備を めぐる諸アクター間の影響力行使に関する考察	245
第10章	スポーツ事業における諸アクター間のネットワーク形成をめぐる新潮流	281
第1節	スポーツ事業における公民協働の模索と諸アクター関係の特質 アイスホッケーチーム「日光ボックス」の設立運動を素材にして	281
第2節	オーストラリア州・地方政府におけるスポーツ事業をめぐるガバナンス の諸相と政策ネットワークの形成 スポーツ振興戦略と地域スポーツクラブ運営の事例から	290
おわりに		312
あとがき		316
参考文献		317